

「骨髄バンク8万人登録運動」にご参加下さい

骨髄バンク8万人登録運動 高知

現在、日本国内では毎年約 6,000 人もの人が白血病・再生不良性貧血・先天性免疫不全症などの病気を発症しています。それらの病気の根治治療のため骨髄移植を必要とする患者さんは、毎年少なくとも 2000 人以上いますが、ドナー候補者（骨髄液提供の意思のある方）が見つからない方が、約 2 割にものぼります。

赤血球に A・B・O・AB の血液型があるように、白血球にも HLA 型といわれる型があります。この HLA 型が一致しないと骨髄移植は拒絶反応などの合併症によって成功率が低くなります。兄弟姉妹間では 4 分 1 の確率で一致しますが、非血縁者（他人）間では、数百から数万分の 1 の確率でしか一致しません。それ故に、広く一般からドナーをつくる骨髄バンクが必要となるのです。

そして、骨髄バンクへのドナー登録が 30 万人あれば骨髄移植を待っている多くの患者さんが HLA の一致したドナーとめぐり合うことができます。

私たちは EB ウイルス感染が原因で血液腫瘍を発症した戸田浩司君のことはきっかけとして、骨髄バンクへのドナー登録をよびかけてきました。

私たちは彼の意志である「自分だけではなく、骨髄移植を待っているすべての人にドナーが見つかるように」ということばから、戸田君だけではなく、骨髄提供を待ち望んでいる多くの患者さんたちの希望の輪を広げる運動になれば、という思いで取り組んできました。

この運動がスタートした 2005 年 12 月の時点でのドナー登録者数は約 22 万人。あと 8 万人の登録があれば 30 万人に達するということから、「骨髄バンク 8 万人登録運動」が始まりました。2006 年 9 月末現在 26 万人を超え、あと 4 万人となっています。

骨髄液提供には入院と全身麻酔による「骨髄採取」が必要です。

私たちは骨髄移植でしか助からない命があること、骨髄バンクの役割、ドナー登録（骨髄液の提供）について知ってもらうことがまず大事だと考えています。

そして、「病氣と闘う人の力になりたい」と願う人に、骨髄バンクへのドナー登録を呼びかけています。

日本骨髄バンクニュース vol.28から

読売巨人軍の原辰徳監督が6月、ドナー登録をしました。「患者さんの役に立ちたい」という監督自らの気持ちから実現したものです。プロ野球 1 の人気チームを指揮する立場でありながら、ドナー登録に踏み切った監督に心を動かされた方も多いのではないのでしょうか。



らま支人し！まうもろて聞で援ジ
なす生たにし言ら、ない行すヤ登
い。ら、。なた葉いドいたわるイ録
患骨れ多私れがそまナかかれぎアを
者髓てく自る、のし！とらてつんし
さんバ今の身の実もた登周でいかツよ
んが人もか際の。録りするけがう
がクあこのはどは骨のに。支と骨と思
いがのれ知うよ髓こ相な援な髓っ
とをまりすまた知んをしか動たん
と借てまた知んをしか動たん
りせらつく教た役の高クの
つりのせらつく教た役の高クの
とあばてて野んどてとえとに話知は、
つナなそあなでげら治い、球でナいいてこ立を県支、

（に増でがいしい正いいすもしい踏っ援するンや会げ
財しえす登ていい直病ことス。増ていみじし。チツな的て
団してよ録もんかなと事とス。増ていみじし。チツな的て
法もいきたし希望すかるところも、同じ選の支援が願も理え一
人らとつ直後夢やけど、い、選の支援が願も理え一
骨髓たい信とこれ上持っの、本言者さんには、嬉して
髓植いじとてれ原つよ当業さんには、嬉して
推思、か原つよ当業さんには、嬉して
進ひも登ほなむかには、嬉して
財とつド録しなむかには、嬉して
行のナしい状況は、嬉して
）励！た況は、嬉して

「骨髄バンク 8 万人登録運動」にご参加ください。
あなたの善意が 1 人の命を救うことができるかもしれません。

一緒にボランティア活動をしてみませんか。

登録会での呼びかけ、ピラ配布など、無理なく、できるものができる範囲で「骨髄バンク 8 万人登録運動」をおこなっています。

骨髄バンク 8 万人登録運動 高知

〒 780-8014 高知市塩屋崎町 1-1-10

土佐高等学校内 代表 坂本 隆

http://www2.odn.ne.jp/todakouji_sien/